

病態生理学 Pathophysiology

薬：E3-02221MY、生命：E3-02221MS

医療科目 2年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 蒲生 修治(病態生理学研究室)

■教育目的

病態生理学とは、健康者の生理との対比により、患者の自覚症状、他覚的所見や検査結果などから患者の体内で生じている変化を明らかにする学問である。本講義では、個々の患者に対して適切な薬物療法や治療戦略を考察できるようになるために、代表的な疾患において患者体内で生じる変化と、その発現機序に関する基本的知識を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、SD-②、SD-③】

■学習到達目標

1. 主要な疾患の症状や臨床所見及び検査値について説明できる(知識)
2. 主要な疾患の発症原因、発症機序及び経過を説明できる(知識)
3. 主要な疾患への適切な対応や治療戦略を根拠に基づいて提案できる(知識)
4. 類似した特徴・症状を示す他の疾患との違いを説明できる(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：受講前に教科書および配信資料に目を通し、疑問点を確認しておく(15分)

各回の講義内容に関連する生理学の基本的事項を、1年次に使用した教科書・講義資料によりおさらいする(20分以上)

復習：講義内容について論理を飛躍させずに説明できるようになる(30分以上)

■授業形態

グループワーク、双方向型授業（ICT活用）、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	病態生理学総論	病理学総論、臨床検査学総論、病因論、症候学、画像診断学	D-1-2-1,2,3
2	消化器疾患	消化性潰瘍、炎症性腸疾患、肝炎・肝硬変	D-2-11-1
3	循環器疾患①	不整脈	D-2-8-1
4	循環器疾患②	高血圧症・低血圧症、虚血性心疾患、心不全	D-2-8-1
5	泌尿器系疾患	慢性腎臓病、急性腎障害、ネフローゼ症候群、排尿障害(過活動・低活動膀胱)	D-2-13-1
6	呼吸器系疾患	換気障害の分類、肺炎、間質性肺炎、気管支喘息、COPD	D-2-12-1
7	神経系疾患①	脳血管疾患(脳梗塞、出血性脳血管障害)、認知症	D-2-5-1
8	神経系疾患②	パーキンソン病、運動機能に関与する神経・筋疾患、てんかん	D-2-4-1 D-2-5-1
9	神経系疾患③	精神疾患(統合失調症、うつ病、双極性障害、神経症)、睡眠障害、頭痛	D-2-5-2
10	耳鼻咽喉疾患・眼疾患	アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、めまい、中耳炎、白内障、緑内障、加齢黄斑変性	D-2-7-2 D-2-10-1 D-2-15-2
11	代謝疾患①	糖尿病	D-2-6-1
12	代謝疾患②	メタボリックシンドローム、高尿酸血症	D-2-6-1
13	血液・造血器疾患	貧血、播種性血管内凝固症候群、血友病、血栓性血小板減少性紫斑病、白血病	D-2-9-1 D-2-16-1
14	内分泌疾患	甲状腺疾患、副腎皮質機能亢進症・低下症、尿崩症、高プロラクチン血症	D-2-6-1
15	自己免疫疾患・生殖器疾患	関節リウマチ、子宮内膜症、子宮筋腫、前立腺肥大症、不妊、異常妊娠	D-2-14-1,3

■授業分担者

蒲生 修治(No.1～4)、若林 朋子(No.5～10)、望月 靖子(No.11～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を随時受付ける。

講義中の確認テストや MY-CAST 上の小テストにより理解度を確認し、解説によりフィードバックを行う。

期末試験の得点(100%)に基づいて総合的に評価する。

■ 教科書

薬学生のための臨床病態学(南江堂)

必要に応じてプリント等を配信(配布)する。

■ 参考書

病気がみえるシリーズ(メディックメディア)